

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

二宮町教育委員会

1 はじめに

令和5年4月に実施された「令和5年度全国学力・学習状況調査」について、このみや学園二宮町立小・中学校の調査結果の概要をお知らせします。二宮町教育委員会では、調査結果及び課題等を公表することにより、町民の皆様をはじめ児童生徒に関わる様々な立場の方に関心をもつていただき、二宮町の学校における教育指導の充実や児童生徒の学習意欲の向上につなげていきたいと考えております。

本調査の結果は町全体のものであり、各学校や児童生徒個人の学力や学習状況を表すものではありません。また、本調査は児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面の結果です。

町民の皆様におかれましては、本調査の目的及び結果公表の趣旨をご理解いただくとともに、数値結果だけを重視するのではなく教育の過程も考慮いただき、本町の児童生徒の健全育成のために公表資料を有効にご活用くださいますようお願いいたします。

2 調査の概要

(1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・以上のような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の内容

- ・教科に関する調査（国語、算数/数学、英語）
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）

(3) 実施期日

令和5年4月18日（火）

※英語「話すこと」については、二宮中学校は、令和5年4月18日（火）

二宮西中学校は、令和5年4月20日（木）

(4) 調査を実施した児童生徒数

小学校 6年生 175人（3校合計）

中学校 3年生 176人（2校合計） ※数学、英語（話すこと）についてはそれぞれ175人、174人

3 調査の結果について

(1) 教科に関する調査の平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差

※ 平均正答数：児童生徒の正答数の平均。(正答数の平均/総問題数)

平均正答率：児童生徒の平均正答数を百分率で表示。ただし、小数点以下第1位の数値を公表することで、数値データによる単純な比較が行われ、序列化や過度な競争を助長する一つの要因として考えられることから、文部科学省は都道府県別の平均正答率を整数値で公表。都道府県に対しても同様の配慮を求めていることから、二宮町の平均正答率も小数点以下第1位を切り捨てて表示。

中央値：集団のデータを大きさの順に並べたときに真ん中に位置する値。

標準偏差：集団のデータの平均値からの離れ具合(散らばりの度合い)を表す数値。標準偏差が0とは、ばらつきがない(データの値が全て同じ)ことを意味する。

[小学校]

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語	9.5 問/14 問	68%	10.0 問	3.3
算数	10.1 問/16 問	63%	10.0 問	3.6

[中学校]

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語	10.7 問/15 問	72%	11.0 問	3.2
数学	8.3 問/15 問	55%	9.0 問	4.0
英語	8.3 問/17 問	49%	8.0 問	4.2
英語 (話すこと)	0.8 問/5 問	15%	0.0 問	1.1

(2) 各教科の結果概要について ※本町の平均と全国の平均が5%以上の差があるもの

[小学校：国語]

○本町の平均が全国の平均を5%以上、上回っている問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	評価の観点	問題形式
1 三(1)ア	【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(いがい)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	知識・技能	短答式
1 四	【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する	文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる	知識・技能	選択式

○本町の平均が、全国の平均を5%以上、下回っている問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	評価の観点	問題形式
3 二	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	思考・判断・表現	記述式

※「解答時間が十分でしたか」に対して、肯定的な割合は、県・全国より5%以上低い。

〔小学校・算数〕

○本町の平均が全国の平均を5%以上、上回っている問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	評価の観点	問題形式
1 (3)	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	思考・判断・表現	記述式
3 (1)	2種類の辞典を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているのかを選ぶ	()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる	思考・判断・表現	選択式

※本町の平均が、全国の平均を5%以上下回る問題はない。

※「解答時間が十分でしたか」に対して、肯定的な割合は、県・全国より5%以上低い。

〔中学校：国語〕

○本町の平均が全国の平均を5%以上、上回っている問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	評価の観点	問題形式
3 三	『判じ絵』とは何かと見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	知識・技能	短答式
3 四	『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる	思考・判断・表現	記述式
4 三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる	思考・判断・表現	記述式

○本町の平均が全国の平均を5%以上、下回っている問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	評価の観点	問題形式
4 一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(いひける)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる	知識・技能	短答式

〔中学校：数学〕

○本町の平均が全国の平均を5%以上、上回っている問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	評価の観点	問題形式
1	-5、0、3、4、7、9の中から自然数を全て選ぶ	自然数の意味を理解しているかどうかをみる	知識・技能	選択式
2	$12(x/4 + y/6)$ を計算する	数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる	知識・技能	短答式
6(2)	はじめの数にかける数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	思考・判断・表現	記述式
7(1)	1961年～1975年の四分位範囲を求める	四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる	知識・技能	短答式
8(1)	晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる	知識・技能	短答式

※本町の平均が、全国の平均を5%以上下回る問題はない。

〔中学校：英語〕

○本町の平均が全国の平均を5%以上、上回っている問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	評価の観点	問題形式
5(2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する	「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる	知識・技能	選択式
6	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	思考・判断・表現	選択式
7(1)	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる	知識・技能	選択式
8(2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる	思考・判断・表現	記述式
9(1)②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる	知識・技能	短答式
9(2)	メールの英文を依頼する表現に書き換える	「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみる	知識・技能	短答式

1 (1) 話すこと	動物園でのやり取りの中で、留学生の質問を受け、ゾウの誕生日を伝える	日付に関する基本的な表現を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	知識・技能	短答式／ 口述式
---------------	-----------------------------------	--	-------	-------------

○本町の平均が全国の平均を5%以上、下回っている問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	評価の観点	問題形式
4	水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる	思考・判断・ 表現	選択式

今後の対応について

学校に対して、令和5年度全国学力・学習状況調査報告書（文部科学省 国立教育政策研究所 令和5年8月）に記載されている指導アイデア等も参考にして、授業の改善や指導計画に反映させていくことを求めています。

<https://www.nier.go.jp/kaiatsu/zenkokugakuryoku.html> （国立教育政策研究所 HP）

（3）児童生徒質問紙調査の概況について

<生活習慣や学習環境等に関する調査結果>（抜粋）

※数値には、「どちらかといえばしている、どちらかといえば当てはまる、ときどきある」の回答を含む

1. 生活習慣や学習環境等に関する調査結果（抜粋）

質問 番号	質問事項	小学校（%）			中学校（%）		
		二宮町	神奈川県	全国	二宮町	神奈川県	全国
1	朝食を毎日食べている。	93.7	93.9	93.9	92.7	90.2	91.2
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	84.1	79.6	81.0	68.0	73.6	78.0
3	毎日、同じくらいの時刻に起きている。	88.7	89.3	90.5	91.0	88.7	91.3
4	自分には、よいところがあると思う。	83.0	83.5	83.5	73.0	79.3	80.0
5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	91.5	88.9	89.8	91.0	86.8	87.3
6	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思う。	91.5	91.7	93.0	88.7	87.9	88.9
7	将来の夢や目標を持っている。	82.3	79.6	81.5	67.4	64.8	66.3
8	人が困っているときは、進んで助けている。	92.0	91.3	91.6	85.9	87.7	88.1
9	いじめは、どんな理由があってもいけないと思う。	97.8	96.7	96.9	91.6	94.9	95.5
10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。	64.2	66.3	68.5	61.8	65.6	66.4
11	人の役に立つ人間になりたいと思う。	96.6	95.7	95.9	93.3	94.3	94.6
12	学校に行くのは楽しい。	81.9	85.3	85.3	74.2	82.3	81.8

13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。	72.2	76.8	76.5	78.0	78.0	77.6
14	友人関係に満足している。	89.2	89.8	90.3	83.2	88.3	88.7
15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになる。	88.6	91.1	91.0	86.0	87.0	86.8
16	家で、自分で計画を立てて勉強をしている。 (学校の授業の予習や復習を含む)	67.6	69.2	70.7	57.8	55.3	55.0
23	新聞を読んでいる。(ほぼ毎日、週に1~3回程度)	11.4	13.2	12.6	5.6	6.8	8.1
24	読書が好きである。	72.8	69.7	71.8	65.7	62.2	66.0
25 (29)	今住んでいる地域の行事に参加している。	48.3	53.3	57.8	23.6	32.3	38.0
26 (30)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	74.5	76.5	76.8	62.4	60.8	63.9
27 (31)	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う。	74.4	73.7	72.5	70.2	69.1	66.8
28 (32)	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う。	74.5	77.4	78.1	55.6	60.9	63.2
29 (33)	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用した。※ここでの「週3回以上」は、「ほぼ毎日」の割合を含む。	78.4	68.5	62.4	95.0	62.5	61.1
30 (34)	学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う。	97.2	95.3	95.1	95.5	94.3	93.3
32 (36)	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、が自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。	77.2	67.4	63.7	74.1	70.5	62.1
33 (37)	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	80.1	80.0	78.8	77.0	80.4	79.2
34 (38)	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている。	70.4	75.5	74.4	71.9	70.8	69.1
35 (39)	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、自分こあった考え方、教材、学習時間などになっていた。	83.5	82.0	82.9	71.3	73.8	74.9
36 (40)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。	87.0	82.1	81.8	75.3	78.0	79.7
37 (41)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。	79.0	76.5	77.4	69.7	69.7	69.2
38 (42)	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている。	82.4	82.3	81.9	65.8	70.3	69.9
39 (43)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	79.5	76.0	74.8	90.4	75.0	72.6
40 (44)	学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。	68.2	75.7	77.2	79.8	78.2	77.9
41 (45)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。	72.8	73.9	75.7	69.7	69.0	71.6
42 (46)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	81.2	82.2	83.6	82.6	84.3	86.3

※質問番号が2段ある場合は、上段が小学校の質問番号、下段が中学校の質問番号

2. 教科に関すること

【国語】

質問 番号	質問事項	小学校 (%)			中学校 (%)		
		二宮町	神奈川県	全国	二宮町	神奈川県	全国
43 (47)	国語の勉強は好きである。	62.5	61.3	61.5	60.7	62.9	61.4
44 (48)	国語の勉強は大切だと思う。	96.0	94.3	94.2	90.5	92.5	92.4
45 (49)	国語の授業の内容は、よく分かる。	88.7	85.8	85.7	79.2	81.7	80.0
46 (50)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	94.3	92.8	92.8	87.0	89.2	88.7

【算数・数学】

質問 番号	質問事項	小学校 (%)			中学校 (%)		
		二宮町	神奈川県	全国	二宮町	神奈川県	全国
51 (55)	算数（数学）の勉強は好きである。	59.6	61.3	61.4	49.4	58.0	56.7
52 (56)	算数（数学）の勉強は大切だと思う。	93.8	93.8	94.2	72.4	84.0	85.0
53 (57)	算数（数学）の授業の内容はよく分かる。	80.7	80.3	81.2	74.1	74.8	73.3
54 (58)	算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。	93.7	92.7	93.3	60.6	74.7	75.8

【英語】

質問 番号	質問事項	小学校 (%)			中学校 (%)		
		二宮町	神奈川県	全国	二宮町	神奈川県	全国
55 (59)	英語の勉強は好きである。	75.5	69.0	69.3	60.7	56.0	51.9
56 (60)	英語の勉強は大切だと思う。	96.6	91.9	91.3	88.2	89.4	88.0

※質問番号が2段ある場合は、上段が小学校の質問番号、下段が中学校の質問番号

「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」など基本的な生活習慣は小・中学生共にほぼ県・全国の割合と変わらなく良好といえます。しかし中学校では、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」の割合は、県・全国の割合と比べ下回っています。今後も、学校と家庭と地域が連携・協力して子どもたちの生活を見守り、健全な成長につなげていくことが大切です。

「先生は、あなたのよいところを認めてくれる」と回答した中学生の割合は、県・全国より上回っていますが、「自分には、よいところがあると思う」と回答した中学生の割合は、県・全国を下回っています。自分に自信がなかったり、人と比較してしまったりすることがあるかもしれません。自分のよいところを探すためにも、生徒同士が互いのよさを発見し、認め合うことができる機会を設けることが必要であると考えられます。

「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した小・中学生の割合は、県・全国を下回っています。その原因の一つとして関係がみられる「友人関係に満足している」と回答した中学生の割合は、県・全国を下回っています。友人関係で否定的な回答の理由には様々あると考えられます。今後も子どもたち一人ひとりの思いに寄り添った対応し、魅力ある学校づくりを進めていくことが必要であると考えられます。

「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した中学生の割合は県・全国を下回っています。県・全国の傾向と同じですが、中学生の地域行事への参加は小学生のそれと比べて大きく減少しています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域行事が中止になったことや、中学生は部活動や習い事等で地域の行事に参加したくても参加できなかったことも考えられます。発達段階も考慮しながら地域の一員としての自覚を育むことが望まれます。また「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたい」と回答した小・中学生の割合は県・全国を下回っています。地域の行事に参加することで、日本や地域の良さを実感し、外国の人だけではなく様々な人に日本や地域の良さを伝えたいという気持ちを育てることができると考えられます。

「5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用した（「ほぼ毎日使用した」を含む）」と回答した小・中学生の割合は、県・全国より上回っています。ICTを活用した授業が日常化してきています。授業の目的に応じてICTを効果的に使うにはどのようにしたらよいか引き続き研究し、授業改善に努めていきます。

「5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」と回答した小・中学生の割合は、県・全国より上回っています。また、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した中学生の割合も県・全国より上回っています。総合的な学習の時間で、資料やインターネットなどから必要な情報を集め整理して、教員が発表の方法を指導するなどの活動を取り入れてきました。総合的な学習の時間のみならず、他の教科でも日常的に行ってきたことも大きな要因の一つになっていると考えられます。小中学校の9年間の学習を見通して、思考力、判断力、表現力等を高めることができるよう授業改善に努めていきます。

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と回答した小学生の割合は、県・全国より上回っています。主体的・対話的で深い学びを意識した授業を展開してきたことが、成果となって表れていると考えられます。今後も主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善に努めていきます。

「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」と回答した小学生の割合は、県・全国を下回っています。多様な意見を尊重し、合意形成を図る力を育成するための対話的な活動を取り入れていくことが大切であると考えます。

「数学の勉強は好きである」「数学の勉強は大切だと思う」「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した中学生の割合は、県・全国より下回っています。授業で学んだことを活用した問題解決学習を計画的に取り入れて、数学を学ぶことの良さを実感できるように授業改善に努めていきます。

「英語の勉強が好きである」と回答した小・中学生の割合は、県・全国より上回っています。また「英語の勉強は大切だと思う」と回答した小学生の割合は、県・全国より上回っています。小学校と中学校の教員が一緒に英語研修会に参加し、授業改善に向けて話し合いを重ねています。また、互いの校種でどのように英語の授業を行っているかを把握することで、小・中学校での英語教育のつながりを意識して授業をしてきました。今後も小・中学校間の連携を意識して、英語の授業改善に努めていきます。

4. 本町の児童生徒質問紙調査と教科に関する調査のクロス集計結果

本町の児童生徒質問紙調査の結果と教科に関する調査結果との関係を見ると、次のように回答した本町の児童生徒が、教科の正答率が高い傾向が見られました。

【小学校】

- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている。(学校の授業の予習や復習を含む)
- ・新聞をほぼ毎日読んでいる。
- ・読書が好きである。
- ・地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思う。
- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う。
- ・5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。

【中学校】

- ・朝食を毎日食べている。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
- ・1、2年生のときに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいた。
- ・学級生活をよりよくするために学習活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。

5 今後に向けて

二宮町教育委員会では、本調査の結果の分析を行い、その結果を各学校に示しました。各学校では課題を明らかにして授業改善や学校経営に反映させています。

今後も、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりに努め、より効果的なカリキュラムマネジメントが行われるよう教育委員会は各学校を支援していきます。

本調査を通じて、基本的な生活習慣や学習習慣の確立、地域社会との関わりは学力向上及び児童生徒の健全育成に大切であることを改めて確認いたしました。二宮町教育委員会では、令和5年度より施設分離型小中一貫教育が始まりました。小・中学校が9年間を見据え共通性と一貫性のある指導支援に取り組んでいきます。また、二宮町内のすべての小・中学校がコミュニティ・スクールになっています。コミュニティ・スクールとして学校、家庭、地域との協働をより一層充実させて効果的な教育活動を進めてまいります。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。